



認知症の症状が改善する場合と悪化する場合のイメージ図

もの忘れがある・思い出せない・失敗がある

なんだかおかしい  
これまでの自分と違う

『本人がホッとする  
ような対応』は、  
症状の改善や、  
穏やかに進行する  
とされています。

認知症の症状に本人が最初に気づきます

不安で不安で、気持ちが沈んだり、  
イライラしたり、怒りっぽくなる

悔しい・つらい毎日を  
過ごしています

「大丈夫だよ」と  
本人の不安な気持ちを  
理解して受け入れる

もの忘れや失敗を  
「またーっ!!」ととがめる

認知症の人が  
感じている世界を

正しく理解し、叱ったり

拒否したりせず、思いやりのある

接し方を心がけることで、お互いが

安心して生活できるようになり、

『行動・心理症状』(幻覚・妄想・

徘徊・興奮・暴力等)の発症を

抑えられる、または軽症で済むと

言われています。

ますます不安・混乱が強くなり  
元気もなくなる

症状の改善  
穏やかに進行

症状の悪化  
急速に進行



★「なんだかおかしいな…」と気づいた時から早めに相談できる場所や人を見つけておくことも大切な備えです。

★本人も家族も不安な時や気持ちが沈んだ時、イライラしてしまう時には友人や家族などに話を聞いてもらう時間をつくりましょう。私たち認知症地域支援推進員や地域包括支援センターに話してみませんか？



地区・地域	名称	電話番号	担当認知症地域支援推進員
一関地域（山目・中里・巖美・萩荘地区） 花泉地域・平泉町	一関西部地域包括支援センター	21-8618	菅原 恵美 橋本 律子
大東・千厩・東山・ 室根・川崎・藤沢地域	一関東部地域包括支援センター	51-3040	佐藤 恵美 武田 ちえみ
一関地域（一関・真滝・舞川・弥栄地区）	さくらまち地域包括支援センター	48-3180	高橋 千絵

# 令和 3年度 認知症地域支援推進員による講話申し込み書

申込月日・方法	令和 年 月 日 ( ) (持参・電話・他 )
地域名	※一関1・※一関2・花泉・大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢 ・平泉
依頼団体名等	
代表者氏名 (連絡先)	ふりがな
	氏名  (日中連絡できる 電話番号 )
日 時	第1希望 令和 年 月 日 ( ) 午前 ~ 午後
	第2希望 令和 年 月 日 ( ) 午前 ~ 午後
講話・講座内容 (希望する内容にチェック☑してください)	① <input type="checkbox"/> 認知症講話を希望
	② <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座を希望
実施会場	※会場の借用に関することは各自でお願いいたします。
参加予定人数	
備考	
受付者所属・氏名	

※講師は基本「認知症地域支援推進員」が担当しますが、他の講師と調整する事もあります。

※一関1：一関・真滝・舞川・弥栄地区（さくらまち地域包括支援センター担当）

※一関2：山目・中里・巖美・萩荘地区（一関西部地域包括支援センター担当）

= 申込書の流れ =

「講話・講座内容」の①を希望する場合は、最寄りの地域包括支援センターへ、②を希望する場合は平泉町保健センター、一関市役所長寿社会課、各支所保健福祉課に電話かFAXで申込みください。

【①の申込先】 ・さくらまち地域包括支援センター ☎ 48-3180 FAX 31-1165  
 ・一関西部地域包括支援センター ☎ 21-8618 FAX 31-8344  
 ・一関東部地域包括支援センター ☎ 51-3040 FAX 51-3044

【②の申込先】 ・平泉町保健センター ☎ 46-5571 FAX 46-2204  
 ・一関市役所 長寿社会課 ☎ 21-8370 FAX 21-4150

○一関市役所 各支所保健福祉課 ・花泉 ☎ 82-2215 FAX 82-2210 ・大東 ☎ 72-4077 FAX 72-2222  
 ・千厩 ☎ 53-3955 FAX 51-1882 ・東山 ☎ 47-4530 FAX 35-1655 ・室根 ☎ 64-3805 FAX 61-2389  
 ・川崎 ☎ 43-2115 FAX 43-2550 ・藤沢 ☎ 63-5304 FAX 63-5133

※地域包括支援センター処理記入欄

決定日時	令和 年 月 日 ( ) AM・PM ~
対応職員	認知症地域支援推進員 ( ) ・ 他 ( )